

NEWS LETTER

NO.39 2011.10.15



にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本
〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22
☎078-453-5931
http://www.geocities.jp/nihongohiroba_okamoto/

ひろばの新しい取り組み

今年度から兵庫県国際交流協会の新規事業として「外国人県民・児童生徒の居場所づくり事業」が開始され、微力ながら「にほんごひろば岡本」もその一環を担うことになりました。

具体的には、従来の「地域日本語教室の開催」に対する助成金が、「外国人県民対象の地域日本語教室の開催」と「外国人児童生徒対象の日本語教室・日本語による教科学習教室の開催」の二本立てで交付されることになりました。

これをうけて、9月17日に臨時総会を開き、助成金の増加に伴う補正予算を承認、今後、児童生徒への支援に積極的に取り組んでいこうとの意思確認をしました。

私たちは、設立以来、大人と子どもの区別なく支援活動をしてきたので、他の団体からの紹介で何人の子どもたちを受け入れてきました。

子どもの支援は難しい、興味を引き出すには一体どうしたらいいのか、本人の個性や能力、親との関係も複雑なものがあるし・・・そういう悩みを抱えながら、今までに何人の支援者が悪戦苦闘し、それぞれ一定の成果をあげてこられました。

現在、小学生3人、中学生1人、高校生1人と、来日まもない17歳が学習しています。そのバックグラウンドもニーズもさまざまですが、ひとりひとりに寄り添った暖かい支援活動がなされています。親の事情で来日し、異文化の中で生活、教育を受ける子どもたちに対する支援活動は今後ますます重要な役割をもってくるものと思われ、その責任は決して軽いものではありません。

子どもを担当してきた支援者のこれまでの経験や知恵を生かしながら、外部で開かれる研修などにも積極的に参加して、心構えやよりよい支援方法など実践のノウハウを学んでいくことも必要だと思っています。

何よりもまず、私たちの子どもや孫や知人の家族が、同じような環境に置かれたらと想像してみると支援の第一歩が始まるのではないかでしょうか。

「にほんごひろば岡本」が、子どもたちにとって「ここちよい居場所」になるように、気負わず、気長に、楽しく！活動を続けていきましょう。 (西村佳子・代表)

学習者紹介

★徐 徳源くん 韓国出身

多国の言語を勉強中

4月に韓国から来た徐くんを担当している新家です。徐くんは週に2日ひろばに来ています、水曜日は宮武さんと2人で、土曜日は村岡さんと私の3人で勉強しています。勉強といっても、土曜日の方は会話の練習ということで、ほぼずっと雑談をしています。お互いに日本と韓国を紹介し合って新鮮な時間を過ごしています。

神戸大学海事科学部在籍中の徐くんは、今年の2月に帰国した韓くんとミリさんの後輩で、韓国にいた頃からの知り合いだったそうです。ちなみに徐くんが今乗っている自転車は、韓くんが留学中に使っていたものをもらったと言っていました。

徐くんは来日までに独学で6ヶ月間勉強して



いたので、ひらがな、カタカナはほぼ完璧、今は漢字を勉強中です。韓国で漢字の検定試験の資格を取得しただけあって漢字には自信があるそうですが、日本語の漢字は難しいとよく言っています。将来は日本語で書かれた小説が読めるようにと、少し前から日本語の童話を読み始めました。今では毎日1話ずつ読むのが習慣になっているそうです。読書以外にも幅広い趣味の持ち主で、韓国にいた頃は釣りに行っては自分で魚をさばいていたそうです。他にもスケ

ートやスノーボード、自転車、料理が好きで、少し前からはギターも始めたそうです。

言語の面でも好奇心旺盛で、将来は日本語・英語・中国語・イタリア語・フランス語・スペイン語と数々の言語を習得したいそうです。韓国にいた頃は日本語を喋る人がかっこよく思えたそうですが、留学生活が2ヶ月になるかなならないかの頃には日本語も聞き慣れてしまったのか、今は英語の方がかっこよく聞こえるそうです。最近は日本語以外に英語の勉強も始めたそうですが、日本に来てからカタカナ英語が身についてしまい英語の発音が悪くなってしまったと少し苦笑いでした。徐くんによると、韓国人に発音できない音はないため、外国語を勉強する際に発音の面で苦労することは全くないそうです。外国語への適応能力が高いようで、この間も寮の部屋で韓国人同士で飲んでいた時にまでつい日本語が出てしまった、という話もしてくれました。

まじめで勉強熱心な徐くんにこれからも頑張ってほしいなと思います。(新家 はるか)

★朴 弘烈くん 韓国出身

将来は建築家・カフェのオーナー

今までずっと子供の支援をしていた湯地です。

今回は初めて、小、中学生ではなく、朴くんという韓国から来た大学生の支援をさせていただきました。

朴くんは大学では建築関係の勉強をしていて、将来は自分の建てた場所でカフェをしたいとか。日本には日本語を勉強するためにきました。

朴くんの良い所は、正直なところです。日本に来る前に韓国で受けた日本語のテストの点数を、見栄を張ることなく正直に教えてくれました。いつもすごく優しいのですが、最近、

テキストの例文を基に朴くんの子供のころのエピソードを話してもらうと、色々と驚くことが多いです。子供のころも今も悪戯好きなかも知れません。

日本には1年くらいしかいませんが、日本に



いるうちに日本語能力試験のN1に合格したいそうです。朴くんをご存じの方は想像がつくかもしれません、あの朴くんスマイルと共に「N1を取らなければ意味がありませんから」というセリフを確かに聞きました。直球過ぎて恐ろしかったのですが、一緒に頑張っていきたいと思います。

朴くんは日本で、いろいろな場所に行きたいそうです。韓国から行った方が実は楽かもしれない最近は気が付いたそうですが、北海道にも沖縄にも行きたいとか。

カメラも買いたいし、やりたいことだらけ。友達も沢山作りたいみたいです。

あっと言う間に時は過ぎ、朴くんの日本での生活も残りわずかです。充実した楽しい一年にしてほしいので、皆さんも朴くんの思い出作りに参加してくださいな。 (湯地みどり)

★ホー・イー・サンさん

シンガポール出身

話題が豊富で話すことが大好き

ホーさんはシンガポール生まれですが両親は中国人です(従って漢字は得意)。

シンガポール政府の電気通信会社(日本で言えばNTT)の職員として1986年に1ヶ月ほど国から派遣されて日本で仕事をしました。その時に日本人のやさしさや親切心に触れて日本が好きになったそうです。その後、シンガポールでマレーシア出身の奥さんと結婚し、現在は中学生の息子さんが一人います。

昨年2月に奥さんの仕事(彼女は製薬会社の管理職)の都合で退職して日本に来ました(奥さんの仕事優先の愛妻家です)。従ってホーさんの現在の肩書は専業主夫です。

さて日本語は来日後勉強したので今はなんとか日常会話がこなせる(?)レベルです。しかし、「話したい、喋りたい」という意欲は素晴らしい、いつも私が聞き手にまわっています。

ひろばに来た当初は「みんなの日本語」を教



材にしていたのですが、彼はテキストより自分の興味のある話題について話すのが大好きなので、今は会話主体のレッスンで会話の中で出てくる文法的な問題を取り上げたり新しい文型を覚えたりする方法で勉強しています。

レッスンでは毎回、政治、原発、宗教、日本の歴史、さらには旅行の話と次から次へとホーさんはいろんな話題を出してきます。先日も仏教の話が出てきて、彼は得意の漢字交じりに「座禅とは心理と生理の基礎」とか「信は道元功德の母」と書き出して勉強不足の私はたじたじ…

また、日本のＴＶもよく観ており、「野田新首相の印象は冷静、慎重な人です」ときりだして私を驚かせました。ニュースだけでなく今はＮＨＫの朝ドラ「おひさま」にはまっているそうです。

さらに彼は主夫なのでスーパーや料理のことも話題になります。

しかし私が一番感心するのは彼の「話したい」という気持ちの旺盛なことです。残念なことに彼の今の会話のレベルではこれらの豊富な話題についてうまく話すことはなかなか出来ません。言いたいことはたくさん有るのに言葉に出来ずもどかしい。このとき彼はしばらく「う～ん。」と上を向き一生懸命、言葉をさがします。そして最後の手段は得意の漢字による筆談です。私は彼の書いた漢文（？）を見てなるべく簡単な日本語の文章に直し（日本与中国では漢字の意味が異なることがしばしば有り要注意）彼に説明します。

今後も彼の話すことに対する意欲を尊重してレッスンに生かしたいと思っています。

最後になりますが教室の黒板に貼ってある

漢



詩

(写真参考) に皆さん気がつかれましたか? あれはホーさんが七夕の時に即興で書いたものです。驚かれたでしょう。意味は今度ホーさんに会ったときに直接本人に聞いてください。

なかなか抒情的な素敵な詩ですよ。

(宮武寿美雄)

みんなのひろば

「にほんごひろば岡本」2011年度 第12回総会・支援者交流会

第12回総会が5月14日（土）に開催されましたので簡単に報告いたします。

（議事内容）

第1号議案・・2010年度活動報告

第2号議案・・2010年度収支報告

第3号議案・・2011年度活動方針

第4号議案・・2011年度予算

第5号議案・・2011年度役員改選

第6号議案　その他

（総会設立要件）：登録者総数 47名、出席者 24名、委任状 19名で規約により過半数以上を満

たしているので本総会は成立しました。また、上記の議案について議事が行われ全て承認されました。

審議された内容の中について少しご説明させていただきます（なお、各議案の詳細については皆様に配布済の「第12回総会議案書」を参照ください）。

第1号議案 2010年度活動報告のまとめ（今後の課題）

活動報告7に記していますが、平成23年度兵庫県の「外国人県民・児童生徒のための居場所づくり事業」の説明会（2011年4月28日）がありました。これは県が新たに設けた事業（助成金有）の参加募集に応募するため、兵庫県国際交流協会の説明会に2名出席しました。詳しくは巻頭頁をお読みください。



第5号議案 2011年度役員が次のように決定しました。

代表兼会計	1名	西村佳子
顧問	1名	下田美津子
副代表	2名	宮武寿美雄 坂本喬子
会計監査	2名	橋本桂子 松見和代
運営委員		
		コーディネーター 小澤恭子
		教育研修 市川邦子
		広報 三木知津子
		記録 井畠眞理子
		イベント 大西勇（リーダー） 泉尚子 才木綾子 佐々木五十四 佐柳有里
		園田（安楽） 美希 橋本桂子 村岡 聖 湯地みどり

【支援者交流会】

総会に引き続き、支援者交流会が開かれました。軽食を取りながら歓談の後、学習者のタイプ別に分かれて各グループで悩みなどを話し合いました。グループ毎にまとめとして以下のような発表がありました。

1. 主婦が主な学習者

- ①話題としては主婦の日常生活、特に料理な



どの表現、敬語など。

- (言葉) 煮る、炊く、ゆでる、しなり、しゃつきり
- ②学習者が誰に日本語をしゃべるか→場面が少ない。
- ③テキスト 日本語文法ハンドブック (サンクス)
- ④愚痴の聞き役で終わることもある。



2. 児童生徒が主な学習者

- ①最初は反応が無かった（学校では喋るのがこわい）ので文法以前に話すこわさからの脱却を図った（失敗してもOK）。
- ②先に英語の文章をみせてから説明。
- ③動詞の変化が難しい。
- ④絵カードを使う。

い。

3. 能力試験受験が主な学習者

- ①本人の希望は1級だが実力を見て2級を受験。
- ②韓国ではひらがな、カタカナだけで漢字はあまり勉強していなかった。
- ③模擬試験問題を積極的に行った。
- ④細かい発音はあまり気にしない。
- ⑤テキスト：日本語総まとめ



4. 就労が主な学習者

- ①本人の希望でテキストなし、フリートークがメイン。
- ②来日3年だが職場で日本語を喋るチャンスが少なかった。最近日本人のパートが増えたので、コミュニケーションの手段としての日本語が必要になってきた。

2) グループディスカッションのまとめ

1. 主婦グループ

- ①言葉数の少ない人でも少ない言葉の中から話題を引き出してあげる。
- ②メールは書き言葉の練習になる。
- ③色々な事、特に困っていることや悩みが聞き出せる雰囲気作りが必要。

2. 児童生徒グループ

- ①子供とその親の求めるものが違う。
- ②公立校とインターナショナル・スクールの違い。
- ③子供の集中力を考えると 90 分のレッスン時間は長い。60 分がベター。
- ④ひろばに子供のテキストが少ない。

3. 能力試験受験グループ

- ①受験の目的は資格として必要（入社試験ほか）。受験勉強をすることでモチベーションがある。
- ②試験の合否に関して支援者があまり責任を感じる必要は無い（要は本人次第）。
- ③N 4, N 5 レベルのテキストが少ないのででは。

4. 就労グループ

- ①職場で日本人と（日本語で）話す機会が少ない。
- ②仕事のためにレッスンを休む人が多い。
- ③レッスンに来ることを強要せず本人の主体性にまかせる。

☆七夕まつり



今年の七夕まつりは7月2日(土曜日)と7月6日(水曜日)に行いました。特に2日の土曜日は多くの人が参加してくれました。今年は、イベント係のみなさんの企画で折り紙やお習字で作品を作ったり、紙芝居を学習者や支援者が一緒になって発表しました。言葉はよく分からなくても、絵を見て理解してくれたようです。もちろん浴衣も着ましたよ。写真はHPにもアップしますので、ご覧ください。

◆にほんごひろば岡本 NEWS LETTER NO.39◆



「名インタビュアー登場：サツキちゃんとエーレンちゃん」

当教室のサツキちゃん（中学2年）とエーレンちゃん（高校1年）が「在住外国人の子どもたち向けのラジオ番組制作講座」に参加した様子を簡単にご紹介させていただきます。

この企画は「ひがしなだコミュニティメディア」と「多文化共生センターひょうご」の共催によるもので、津田塾大学の辻野理花先生が全面的なサポートをしておられます。

目的は在住外国人の子どもたちが、情報発信のしかた・スキルを学んだり、メディアの利用の仕方を学びながら楽しい時間を過ごすことです。また番組制作を通じて自分のルーツを考える良い機会になればとの目的もあります。

講座は7月30日、7月31日、8月6日、8月7日の4回に分けて阪神深江駅の近くにある大日神社の会館で行われました。プログラムの主な内容は自己紹介、ICレコーダーの使い方、声の出し方、インタビューの練習と実践、編集と発表などです。



参加したのはサツキちゃん、エーレンちゃん、のほかにRさん（中国人の女子大生）、Tさん（ベトナムの女性：翻訳の仕事をしている）、Mちゃん（日本人ですがお父さんの仕事の都合で小さい時から海外暮らしで日本語まだ不十分。女子学生）の5人です。

初日は、まず全員で発声練習からスタート、続いて自己紹介ですが進行の方の手慣れたリードで初対面の5人はすぐに打ち解けた様子。サツキちゃん「皆さんと仲良くしたいです」エーレンちゃん「ラジオ番組制作たのしみです」とはっきりあいさつ。

初日のメインテーマは「聞き手によくわかる話し方とインタビューの準備と心得について」みんなで「なでしこジャパン」に関する原稿を読んでレコーダーに吹き込み自分の声を確認するという作業ですが、二人ともレコーダーから流れる自分の声にびっくり「ええ～これ私の声？」そうですね、録音した自分の声を聴いたことのある人なら皆さん経験したと思います（私も初めて自分の声を聴いたときはショックでした）。

続いてさっそくインタビューの練習ですが上手なインタビューとは「Yes」「No」だけで答えられるような質問はしない。相手の話を次々とうまく引き出すようにという講師のアドバイスが有りました。5人が順番にインタビュアーとインタビューされる人になって始まりました。もちろん全てアドリブです。

エーレンちゃんはMちゃんにインタビュー。

「趣味は何ですか？」から始まり、「マンガが好きです」、「どんなマンガ?」、「少年マンガです」、「それならワンピースは好きですか?」、「はい、大好きです」、「ワンピースのいいところは?」、「一人では何も出来ないけれどチームワークを發揮すれば出来るところ」‥

サツキちゃんはRさんにインタビュー

「どうして日本にきましたか?」、「日本のマンガが大好きだからです」、「日本はどういうところだと思いますか?」、「きれいで、人は勤勉です」、「日本の好きな食べ物は?」、「ラーメンとお寿司です」‥

どちらも相手の答えに合わせて次の質問がすっと出ました。素晴らしいインタビューだと思いませんか。

初日はこんな感じで無事終了。

後日の講座では彼女たちはインタビューの本番として実際に誰かにインタビューして来るという宿題を与えられました。インタビュー相手として二人が選んだのはいずれもにほんごひろばの先生でサツキちゃんは沖さん、エーレンちゃんは蛭谷さん。



二人ともインタビューの突込みがするどく、沖さんが算数の先生であったことや現在ヨガを教えられていること、蛭谷さんはシフォンケーキを作るのが大変上手であることなど、

私たちの知らないお二人のプライバシーを暴露（？）。練習の成果を十分に発揮したインタビューでした。（この模様はインターネットの
<http://www.ustream.tv/recoded/16497713>

又は「多文化共生センターひょうご」「ラジオ番組制作」のキーワードで検索しても見ることができます）。

今回、私が見学させて頂いて一番うれしかったことは、ひろばでは一見おとなしそうな感じの二人がみんなの前でハキハキとしかもうれしそうに喋っていたことです。

また、初めて会った、しかも国籍も環境も異なる5人の子どもたちが仲良くなつて、講座終了後も楽しそうになんと日本語で話し合っている姿に感銘を受けました。

これも講座のスタッフの方々が手際が良く、また彼女たちに分かりやすく、しかも大変楽しい雰囲気で講座を進めていただいたお蔭だと感謝いたしております。有難うございました。（宮武寿美雄）

★イベント担当グループ 活動開始！

リーダー 大西 勇

今年の七夕まつりには新たに「作品を作りましょう！」と「紙芝居を見ましょう！」が加わりました。そして二つとも参加者に大変喜ばれました。

今年度から、にほんごひろば岡本の運営委員会の中に、イベント担当グループが9人のメンバーで発足しました。上記の二つはグループの初仕事となった「七夕まつり」の企画会議で、新メンバーから発案されたものでした。昨年までの内容に加えて新しい試みが皆さんに受け容れられたことは、私たちにとって大きな自信になりました。

これまでにほんごひろばは普段の勉強だけでなく、七夕まつり、バーベキュー大会、年忘れお楽しみ会、スピーチ大会など、一年に数回のイベントを開催してきました。そして今日まですべてのイベントで質の高さを維持し、多くの学習者、支援者の支持を得てきました。私は、その原動力は運営委員を中心とした多くの献身的な協力者のお陰であったと思います。そしてそれは、にほんごひろば岡本の「設立趣意書」の精神と、年度ごとの活動基本方針を忠実に実行に移した結果であると思っています。

私は5月に開いたイベント担当グループの初会合でメンバーの皆さんに、どんなイベントをやるのかを議論する前に、



なんでイベントをやるのかを考えてみようともちかけました。引用したのは、総会で採択された2011年度活動方針でした。そこにはこう書いてあります。

一人の学習者との出会いは、その学習者のルーツである異文化との出会いです。「日本語を教え・学ぶ」という共同作業をとおして、お互いがその違いを知り、学び、尊重しあえる関係をつくりあげたいと考えています。

また、性別や世代を超えた支援者が、色々な場面で無理なく異世代交流のできる場でありたいと願っています。

イベントの立案にあたっては、これを踏まえて次の点を配慮しようと話し合いました。

- ① 日本の特色を出すと同時に、学習者のお国柄を出してもらうように
- ② 若年者から高齢者まで、女性も男性も、共に楽しめるように
- ③ 文化系・体育系、お楽しみ系・競技系、個人・団体、室内・屋外などの点で一方に偏り過ぎないように
- ④ 過去を参考に、将来を見通して

イベント担当グループは、アイデアと遊びごころを発揮してまいります。皆様の理解と参画を期待いたします。

■お知らせ■

【安楽美希さん御結婚！！】

安楽さんが10月8日、神戸で結婚式・披露宴を挙げられました。ひろばからは西村代表と下田先生が列席されました。とてもきれいで素敵なカップルです。お幸せに。これからもひろばをよろしく。写真は次ページです！！

【B B Q】

2年ぶりのB B Qは2011年10月29日（土曜日）の予定です。お天気だといいですね。お楽しみに。

【スピーチ大会・お楽しみ会】

2011年12月18日（日曜日）を予定しています。乞うご期待！

CONTENTS

★巻頭言

ひろばの新しい取り組み…………1

★学習者紹介

徐 徳源くん2

朴 弘烈くん2

ホー・イー・サンさん3

★みんなのひろば

2011 年度 第 12 回総会・支援者交流会 4

七夕まつり 7

「名インタビュアー登場：サツキちゃんとエーレンちゃん」 9

イベント担当グループ 活動開始！ 10

【お知らせ】

園田（安楽）美希さんご結婚

B B Q (10月29日)

スピーチ大会・お楽しみ会（12月）



〔編集子のつぶやき〕

猛暑、節電の影響で今年の夏はひろばが初めての夏休みをとりました。7月20日から8月13日まで1カ月。それを言い訳に発行は発酵？？してしまいこんな時期になってしましました。ごめんなさい。秋風が吹き、金木犀が良い香りを放っていますね。それではB B Q で元気にお会いしましょう。（M. I）